

評価項目	自己評価	アピールポイント
1-1	S	<p>①RET融合遺伝子陽性肺がんの薬剤耐性メカニズムを発見 <評価書10頁/説明資料6頁参照></p> <p>②マイクロRNAによる卵巣がんの早期診断モデルを作成 <評価書10頁/説明資料9頁参照></p> <p>③血液から脾臓がん治療標的となる遺伝子異常を検出 <評価書21頁/説明資料11頁参照></p>
1-2	S	<p>①がんゲノム医療の基盤整備と遺伝子パネル検査の保険収載決定 <評価書35頁/説明資料16、17頁参照></p> <p>②SCRUM-Japanの促進とデータ収集の拡大 <評価書43頁/説明資料17頁参照></p> <p>③アジア主導の開発へ向けたネットワーク構築と新薬開発 <評価書50頁/説明資料18頁参照></p>
1-3	S	<p>①高度先進医療と治験の推進 <評価書33頁/説明資料21頁参照></p> <p>②低侵襲治療の開発と提供(IVR、8K内視鏡等) <評価書63頁/説明資料22頁参照></p> <p>③患者サポート研究開発センター及びレディースセンターの開設 <評価書69、70頁/説明資料26頁参照></p>
1-4	A	<p>①リーダーとして活躍できる人材の育成 <評価書85頁/説明資料28頁参照></p> <p>②国内・国外からの医療従事者研修の受入促進 <評価書86頁/説明資料28頁参照></p> <p>③臨床研究従事者のためのe-learningの継続運営 <評価書88頁/説明資料28頁参照></p>
1-5	S	<p>①医療の均てん化の促進(都道府県担当者やがん診療従事者への支援強化) <評価書92～94頁/説明資料29頁参照></p> <p>②全国がん登録に基づくがん罹患者数及び院内がん登録5年生存率等を初集計 <評価書98頁/説明資料30頁参照></p> <p>③がん情報サービスの充実 <評価書95頁/説明資料30頁参照></p>
2-1	A	<p>①財務ガバナンスの強化 <評価書102頁/説明資料31頁参照></p> <p>②QC活動の推進 <評価書104頁/説明資料31頁参照></p> <p>③経常収支率の大幅な改善と安定化 <評価書104頁/説明資料31頁参照></p>
3-1	A	<p>①外部資金(公的競争資金、共同研究)獲得の推進 <評価書112頁/説明資料32頁参照></p> <p>②知財収支における9年連続の黒字達成 <評価書112頁/説明資料32頁参照></p> <p>③寄付金の大幅な増加 <評価書111頁/説明資料32頁参照></p>
4-1	A	<p>①新研究棟、NEXT棟及びがんゲノム情報管理センター(C-CAT)の開設 <評価書119頁/説明資料33頁参照></p> <p>②安定した障害者雇用 <評価書121頁/説明資料33頁参照></p> <p>③積極的な広報と幅広い世代への情報発信 <評価書123頁/説明資料33頁参照></p>

2018.02.27 日経産業新聞

薬剤耐性メカニズム発見

国立がんセンターなど 肺がん治療で

国立がん研究センター、京都大学、東京大学などの共同研究グループは、パンデタニブと

薬剤が標的となるたんぱく質にくつくる部位に生じるが、「ここから離れたところに生じた遺伝子変化が、結合部位の構造を

結果、共同研究グループには理化学研究所と英国のクリック研究所も参加した。

医師主導治験では17人中9人でがんが小さくなつたが、半年ほどで再び

がんが大きくなり始めた。肺がんの約85%を占める非小細胞肺がんのうち2%はRET融合遺伝子という遺伝子の異常が原因で生じている。

これらの肺がん患者にはパンデタニブという薬剤が効果を示すことが、同研究センターなどが実施した医師主導治験でわかった。

Aを次世代シーケンサー

で解析した。

薬剤耐性が生じたがん細胞では、RET融合たんぱく質に薬剤が結合する部位から離れたところに遺伝子変異が生じてい

た。薬剤耐性が生じたためだ。薬剤を投与する前のがん組織と、がんが再び大きくなった時の組織を探取して、がん細胞のDN

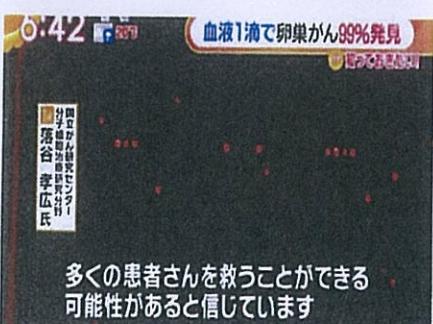
Aを次世代シーケンサーで解析した。

薬剤耐性が生じたがん細胞では、RET融合たんぱく質に薬剤が結合する部位から離れたところに遺伝子変異が生じてい

Clipping (NCC掲載)

2018年10月19日(金)放送

テレビ朝日 グッド！モーニング 「血液1滴で卵巣がん99%発見」



血液1滴で卵巣がん99%発見

国立がん研究センターなどの研究チームはわずか1滴の血液を使って、卵巣がんを検出できる新しい検査法を開発しました。

さらに、同じく血液1滴で胃がんや肺がんなど13種類のがんを見つける検査の開発を進めることです。

(34) 産経新聞 朝 18.10.18

(34) 読売新聞 朝 18.10.18

(注)

血液1滴▼卵巣がん98%判別

国立がん研究センター（東京都中央区）などの研究チームは17日、血液1滴を使った検査法で卵巣がんを98.8%の高率で判別することに成功した。国際科学誌「ネイチャー・コミュニケーションズ」に発表した。卵巣がんは自覚症状が出にくいため、早期発見や治療向上につながる成果として期待される。

チームは、細胞から血液中に分泌される微小物質「マイクロRNA」の変動パターンが、がんの有無の判別に使えることを突き止め、13種類のがんで正解率95%以上という検査法を開発している。

チーム

研究する九州大病院別府病院の森功子教授（消化器外科）は「4000例を超えた大規模解析で非常に信頼度の高い成果と言える。卵巣がんと健常者のほか、他のがんとも区別できることを示した点が重要な発見だ」としている。

少量の血液で 卵巣がん発見

生存率向上に期待

らに開発を進めて「5年以内の実用化を目指したい」としている。

チームは、がんが血中に分泌する「マイクロRNA」

しい上に有効な検診方法もないため、進行してから見つかるケースが多く、死亡率が高いことが問題となっている。

17日、わずかな量の血液からがんの有無を調べる新しい検査法で、卵巣がん患者の99%を見つけることができたと発表した。診断が難しい卵巣がんの早期発見と生存率向上につながると期待され、同センターは、さ

が約1万人。自覚症状が乏しい卵巣がんは年間新規患者

企画戦略局 広報企画室

Clipping (NCC掲載)

2015年11月09日(月)放送 NO. 9

NHK | 「すい臓がん発見の検査キット開発」



1-1⑬

日本経済新聞 2015年11月10日

脾臓がん新たな「目印」

国立がんセンター 早期発見へ期待

国立がん研究センター
研究所の本田一文ユニット長らは血液中の特定のたんぱく質を調べ、脾臓（すいぞう）がんを早い段階で発見する手法を開発した。従来の血液検査

では難しい早期の脾臓がん患者を見つけることができる。検査キットも開発済みで、年内にも1万人規模の検証を始め、実用化を目指す。

研究チームは脾臓がん患者の血液に含まれる物質を調べた。たんぱく質「アポリポプロテインA2（アイソフォーム）」の濃度ががん進行とともに下がることを突き止めた。このたんぱく質を検出

ンティフィック・リポート（電子版）に9日掲載された。脾臓がんは発見しにくく治療も難しく、治療成績向上が期待できる。研究チームは脾臓がん患者を見分けられることが分かった。血液検査で脾臓がんの疑いがある場合、コンピューター断層撮影装置（CT）などの画像診断によって確定診断する。進行段階が異なる脾臓がん患者、健康な人、食道

がん患者などを比べた。たんぱく質をマーカー（目印）になると、従来の血液中の目印を使うよりも早い段階で脾臓がん

を見分けられることが分

かる。

がんの疑いがある場合、

コンピューター断層撮影

装置（CT）などの画像

診断によって確定診断す

ることになるという。

がん患者などを比べた。たんぱく質をマーカー（目印）になると、従来の血液中の目印を使うよりも早い段階で脾臓がんを見分けられることが分かった。血液検査で脾臓がんの疑いがある場合、コンピューター断層撮影装置（CT）などの画像診断によって確定診断する。進行段階が異なる脾臓がん患者、健康な人、食道

企画戦略局 広報企画室

Clipping (NCC掲載)

2018年6月1日(金) 放送

テレビ東京 WBS ワールドビジネスサテライト

がんゲノム情報拠点 開設

遺伝子の検査をして患者に最も適した薬を選ぶ「がんゲノム医療」が4月から全国100ヵ所あまりの病院で始まったことを受け、国立がん研究センターは、患者の遺伝子情報や治療結果を一元的に管理する情報センターを開設しました。がん患者の遺伝子情報などを国レベルで一括管理する仕組みは世界で初めてだということです。データは匿名化して管理し、新しい治療法や新しい薬の開発に利用します

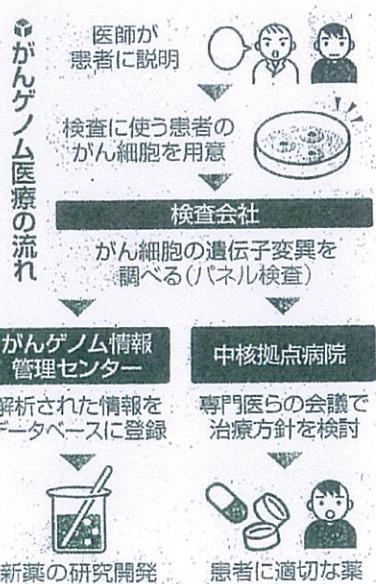


○ 読売新聞 夏'19. 5. 29 (1)

がんゲノム検査保険適用

100種類超を解析 患者に最適薬

来月から



厚生労働省は29日、患者からとったがん細胞を分析し、100種類以上の遺伝子の変異について一挙に調べる「パネル検査」に、6月から公的な医療保険を適用することを決めた。がんに関連する遺伝子の解析結果に基づき、効果的な治療薬を選ぶ「がんゲノム医療」が国内で本格化する。

中医協了承 価格56万円

この日、中央社会保険医療協議会が、2社の検査製品の保険適用を了承した。外製薬（本社・東京都中央区）の製品はすでに欧米など約60か国で使われ、32公定価格の3割となり、大幅に軽くなる。検査はこれまでも先進医療が見つかりやすい114種類の遺伝子を調べる。中

4種類の遺伝子を調べる。基本的な料金（公定価格）は、いずれも56万円。保険システム（本社・神戸市）の製品は、日本人で変更され、32公定価格の3割となり、大

○ 読売新聞 夏'19. 5. 29(1)

療や自費診療といった形で一部で行われてきたが、患者の自己負担が数十万円となるケースが多くなった。検査の対象は、標準治療を受けたが効かなかつたか、希少がんなどで標準治療がない患者。全国11か所の中核拠点病院と156か所の連携病院で受けられる。治療方針を判断する専門家が限られるなどから、今年度、検査を受けられる人數は多くても約1万人と見込まれる。

検査後、診断結果は1か月～1か月半程度で出る見通し。現状では治療薬の選択肢が少なく、遺伝子変異に対応した薬が見つかる割合は検査した人の1～2割だが、今後、新薬開発が進めば治療成績の向上が期待される。

費用対効果 検証必要

Eがんと診断される人は年間100万人。がんになった臓器にあわせて様々な薬を試した時代を経て、遺伝子解析という科学的な根拠に基づいて効果の高い薬を選ぶ「がんゲノム医療」時代が到来する。保険適用が決まった「パネル検査」は、次世代シーケンサーと呼ばれる最新の解析機器を使う。急速な技術進歩を背景に100種類

提供するよう検査会社に求めて、提供されたデータは匿名化して、国立がん研究センター内の「がんゲノム情報管理センター」に集約

し、製薬企業の新薬開発などをつなげる。

国立がん研究センター研究所の間野博行所長は、「パネル検査に公的保険が適用されることで、がんゲノム医療の普及が期待される」と話している。

件として、患者の同意を得た上で、遺伝子解析結果を提供するよう検査会社に求めて、提供されたデータは匿名化して、国立がん研究センター内の「がんゲノム情報管理センター」に集約されると話している。

厚労省は、保険適用の条件として、患者の同意を得ることで、がんゲノム医療の普及が期待される」と話している。

2019/9/13 東大発ベンチャー Genomedia、世界最大規模のがんゲノムスクリーニング基盤に臨床・ゲノム情報統合クラウドサービス提供開始

各 ニュース **スポーツ・五輪** **写真・動画** **特集** **エンタメ・AKB48** **地域** **ライフ** **メデカル**

政治 経済 マーケット 社会 國際 ワールドEYE 記録 予定 BWリリース PRTIMES アクセスランキング ENGLISH 國体Live

Jiji.COM  **広告** **インテリジェントストレージの圧倒的なメリット**

時事トックコムニュース PR TIMES 東大発ベンチャー Genomedia、世界最大規模のがんゲノム…

Learn more **9月12日 (木)** **東京都(東京)** **PR TIMES** **株式会社**

検索 **オフィス版**

東大発ベンチャー Genomedia、世界最大規模のがんゲノムスクリーニング基盤に臨床・ゲノム情報統合クラウドサービス提供開始

原則1コースで終了する免疫療法・自家（じか）がんワクチン療法

開く

[Genomedia株式会社]

Genomedia(R) Front Cloud Serviceを国立がん研究センターが実施する「SCRUM-Japan」第一期に提供開始

Genomedia株式会社（代表取締役：山田 郁之 東京都文京区）以下 Genomedia）は、臨床情報と歴史データベース、その他解析情報の統合管理をクラウド上でセキュアに実現する歴史データベース管理サービスGenomedia(R) Front Cloud Serviceを、国立研究開発法人 国立がん研究センター（理事長：中澤 誠 東京都中央区）が2019年6月より開始した、世界最大規模のゲノムスクリーニング基盤「SCRUM-Japan」第一期（LC-SCRUM-Asia、MONSTAR-SCREEN）に提供開始致します。



Genomediaはこれまで、国立がん研究センターを実施する、国内からんを対象とした我が国初の産学連携がんゲノムスクリーニングプロジェクトである「SCRUM-Japan」第一期、第二期に2015年以降Genomedia(R) Frontを提供し、1万例（肺がん約5400例、進行消化器がん約5700例）を超えるがん患者さんの臨床・ゲノムデータ共有システムを構築。66のアカデミア施設、17の製薬企業との間での相互ゲノム情報交換に貢献してまいりました。

「SCRUM-Japan」第二期では、がん検査を採取せずに血液で簡便にがんの遺伝子変異を行なうことができる、経済的に複数回遺伝子解析を実施することができる「リギッドバイオプロファイル」研究が進められており、今後、MRD（微小残存腫瘍）モニタリング・再発リスクの高い確約的門診・早期治療化等の評価・リアルタイムでの耐性の進化が迅速など、今後が期待されています。

そのため、今回Genomediaが「SCRUM-Japan」第二期に提供開始するGenomedia(R) Front Cloud Serviceでは、これまでのGenomedia(R) Front機能をクラウド上にデータを蓄積することも、血液を用いた遺伝子解析（リギッドバイオプロファイル）に対応した特異的解析機能が追加されています。また、臨床情報・歴史データベース情報、その他解析情報（公的データベース等）からの情報・抽出された遺伝子や遺伝情報、対応する疾患に関する情報、実験中の新情報等を統合した「統合がんゲノムレポート」を出力することも可能となっています。施設枠内に対する解析結果に加え、中央データベースに対する解析結果に対してドレポート出力を実現します。

Genomediaは、「SCRUM-Japan」第二期プロジェクトへのGenomedia(R) Front Cloud Serviceの提供により、世界最大規模のゲノムスクリーニング基盤におけるリギッドバイオプロファイル情報を臨床情報の統合管理を実現することによって、既存の「新規がんゲノムレポート」提供実績の蓄積を通じて、アシミリジョン・メテイジン時代における標準フラットフォーム構築を目指します。

① **楽天生命が**
あなたに合った
保険をお選びします。

Rakuten 楽天生命

フォーカス



PR TIMES

f 時事通信のSNS **t**

✓ 読まれています

米、電子たばこ禁止へ!香りや味付き、ほぼ全て

A G C韓国撤退報道を否定=現地法人「事実と異なる」

【動画】大谷翔平がインディアンス戦で18号ソロHR。

2018年（平成30年）11月21日水曜日

メディファクス

7916号

■ アジア地域のがん対策、日本との協働に期待 国際対がん連合会長

国際対がん連合（UICC）日本委員会は20日、UICCのディナ・ミルアド会長（ヨルダン・ハシェミット国王女）の来日に伴い記者会見を開いた。同会長は「アジアにおいて最も急峻ながんの増加が認められている」と述べた上で、がんで死亡した発達途上国に住む人の半分がアジア地域であると指摘。そのような国を支援するため、日本が取り組みを始めていることに触れ、UICCとしても今後は同日本委員会と「さらに詳細な活動計画を詰めていく実地作業に入っていく」と述べ、協働に期待感を示した。

UICC日本委員会の幹事を務める中釜斎・国立がん研究センター理事長は会見で、がんの死亡数について、全体の6割をアジアが占め「発症数に比べて死亡率が高い状況」であることを紹介した。その上で、がんの実態をアジアという視点から把握することで「より具体的な対策が浮かんでくる」と説明。まずは現状を把握するために、各国でがん登録を進めることが重要とし、日本のノウハウを伝えることが大切と語った。

日本経済夕18.7.23

AIで胃がん発見

理研など 熟練医並み、早期に

理化学研究所と国立がん研究センターは人工知能(AI)を使って、内視鏡画像から早期胃がんを精度で見つけることに成功したと発表した。検診に使えば見逃しが発覚するケースが多い。

一タとして用意。「ディープラーニング(深層学習)」と呼ばれる技術を使ってAIに学習させた結果、がんの80%を正しく見つけることができる。

使うてAIに学習させた。正常な組織を正常と判断できた割合は95%だった。

減らし、早期治療につながると期待される。研究チームは、医師の判断を支援する装置として実用化を目指している。チームは、内視鏡で撮影した100枚の早期胃がん画像と100枚の正常な胃の画像を学習用データとして用意。「ディープラーニング(深層学習)」と呼ばれる技術を使つてAIに学習させた。正常な組織を正常と判断できた割合は95%だった。

1-3 (2)

朝日新聞
DIGITAL

2018年3月15日

シリーズ：その他

細い血管、神経鮮やかに 8K腹腔鏡による臨床試験開始

南宏美 2018年3月15日06時00分



8K技術を使った結腸がんの腹腔鏡手術の様子=14日、国立がん研究センター提供

国立がん研究センターなどの研究チームは14日、従来よりも高精細な画像が見られる8K技術を使った大腸がん腹腔（ふくくう）鏡手術の臨床試験を始めたと発表した。2018年度末までに計25人の患者の手術に使い、手術中の出血量や合併症の発生率などを評価する。

チームによると、従来の手術で使われる腹腔鏡は2Kで210万画素だが、新たに開発された8Kは3300万画素。細かな血管や神経などが鮮明に見えるようになっ

た。カメラを見たい部分に近づける必要がなくなったことで、手術器具を操作できる空間や視野も広がった。

国立がん研究センター中央病院では14日前、この腹腔鏡を使った40代女性の結腸がんを切除する手術があった。これまでの腹腔鏡手術では数十ccの出血があることが多いが、今回約5ccで済んだという。

執刀した塙本俊輔医師（大腸外科）は「きれいな画像で細かな血管まで確認でき、ほぼ出血もなかった。画像の拡大などの操作もスムーズにできた」と話した。金光幸秀・大腸外科長は「よりよく見えるようになることで、がんの取り残しや、神経の損傷による手術後の機能障害を減らすことが期待できる。他の臓器の手術にも応用できるだろう」という。

1-3 ③

2018年9月・7日

ミクス Online

veeva

Events Manager

あらゆるイベントを全社的に企画・実

ミクスonline

ニュース 雑誌 医薬ランキング Onlineメンバー ミーティング資料 ミクス図書館 学会記事

ホーム > ニュース > 国内ニュース > 国がん レディースセンター開設 女性患者特有の悩みに対応

国がん レディースセンター開設 女性患者特有の悩みに対応

公開日時 2018/09/27 03:50

Twitter

印刷



国立がん研究センター東病院はこのほど、女性患者が抱える悩みの相談窓口となるレディースセンターを開設した。外見の変化や、妊娠・出産など女性患者特有の悩みに対し、診療科や多職種が連携して相談にあたる。国がんによると、女性患者のサポートを行う拠点の設置は国内のがん専門病院では初めて。

国がんでは、レディースセンターの開設により、女性患者特有の悩みに対応する。闘病生活のなかでは、妊娠や出産、副作用による抜け毛、乳房や卵巣を失った精神的苦痛など女性特有の悩みを抱えるケースも多い。総合的な窓口として「女性看護外来」を設け、担当者が関連する診療科や職種と連携しながら患者に対応する。

センターの開設に合わせ、患者サロンも新設し、副作用による肌色の変化に対応するメイク教室や、副作用の対処法について薬剤師に相談できる薬教室なども開催する。

国がんは、「幅広い年齢層の女性のがん患者が安心し、日常生活や社会生活に大きな変化を強いられることがなく、治療を受けられる環境を実現したい」とコメントしている。

国がんによると、女性のがんは増加傾向にある。2014年に新たにがんと診断された患者は約36万6000人で、前の年よりも約8000人増加している。

1-3 (3)

日歯広報 2016年10月1日



説明を受ける佐藤保副会長（左）

国がん・患者サポートセンター』開設 日歯、賛同し支援する姿勢示す

日（月）には、研究開発センターの趣旨に賛同し支援する団体等に対する内覧会が開催され、日歯からは佐藤保副会長が出席した。

研究開発センターでは、従来型の医療による対応だけでは満たされないがん患者のニーズ（Unmet Needs）を把握するとともに、がん患者に対するサポートについても、診断法や治療法についての研究や開発と同様の、科学的な評価法や研究手法を導入し、より良いサポートを研究・開発する。

国立がん研究センターは9月5日（月）、より良いがん診療環境の構築などを目的に、同センター中央病院内に「患者サポート研究開発センター」を設置した。開設を目前に控えた8月29

医学の進歩や社会の価値観の変化に伴い、がん診療のあり方も大きく変化しており、「より良い生き方につながるがん医療」が求められている。こうした現状に鑑み、研究開発センターでは患者も医療者も気持ちを切り替えて「より良い生き方」について考えることのできる、従来の病院のイメージとは違う「異空間」となるように配慮した施設を用意。がん患者及びその家族に対する生活の質向上に資する取り組みや、開発・研究などを展開する。

内覧会で本センターの荒井保明・理事長特任補佐、上野尚雄・中央病院歯科医長らと面談した佐藤副会長は、「病院でのこのような取り組みを進めることは、非常に画期的なこと」と述べるとともに、日歯として口腔ケアが関わる部分などで支援していく姿勢を表した。また、国議論では現在、病床機能報告の改善に関する、医科歯科連携の項目が追加される方向性が示されており、歯科に係る報告も上がっていくようになると説明。その上で、研究開発センターの多職種による取り組みが、加算等の形で評価されるように働きかけることが必要との考えを示した。

リーダーとして活躍出来る人材の育成



国立がん研究センターについて
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

各種育成プログラム

築地キャンバスレジデントプログラム がん診療、研究を志す医師の人材育成



- 中央病院の医師人材育成に関する情報
- 国立がん研究センターでの研修を希望される医師募集情報

柏キャンパスレジデントプログラム “学びたいことは「私仕様」で”



- 国立がん研究センター東病院レジデントプログラムのページ
- 国立がん研究センターでの研修を希望される医師募集情報

中央病院 看護師育成

- 中央病院看護部のページ
- 中央病院看護部募集情報

ハナ(1)



TOP

AA

人材募集

教育

広報活動

人材募集

築地キャンバス レジデントプログラム

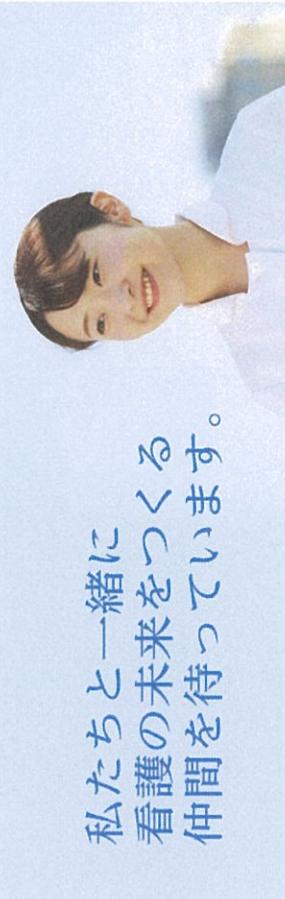


国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

Web レジデント

シンポジウム2020

第1回 2020.7.4 (土) 14:00～16:00
第1回 2020.8.1 (土) 14:00～16:00
オンライン開催 (Microsoft Teams)
申込受付中

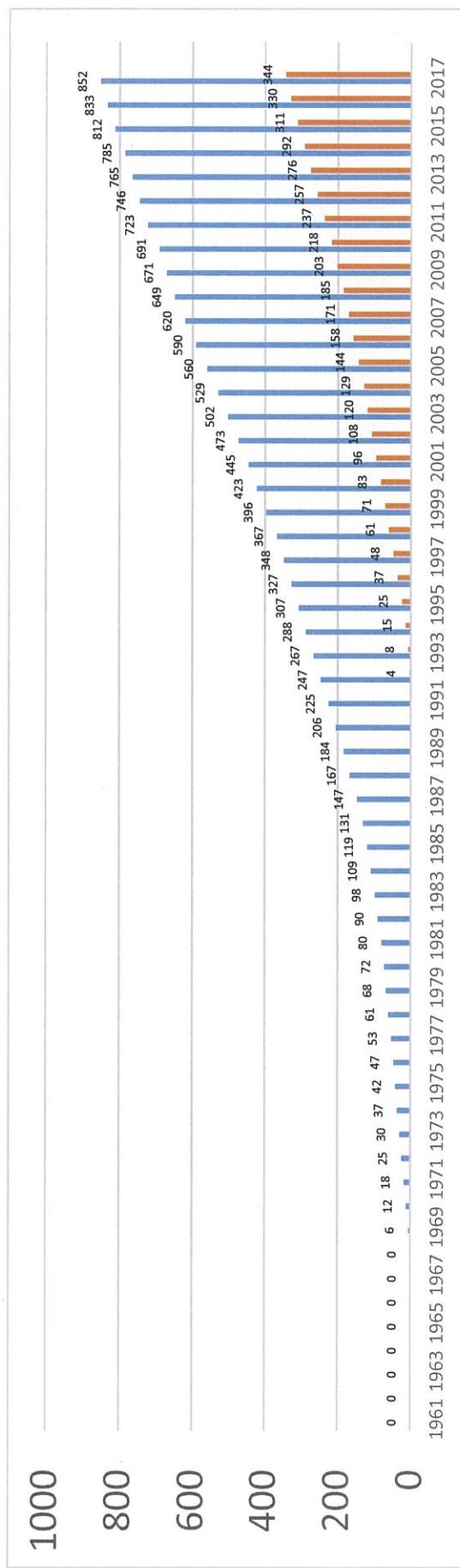


私たちと一緒に
看護の未来をつくる
仲間を待っています。

東病院 看護師育成

国内・国外からの医療従事者研修の受け入れ促進

○研修医の受け入れ人数の推移



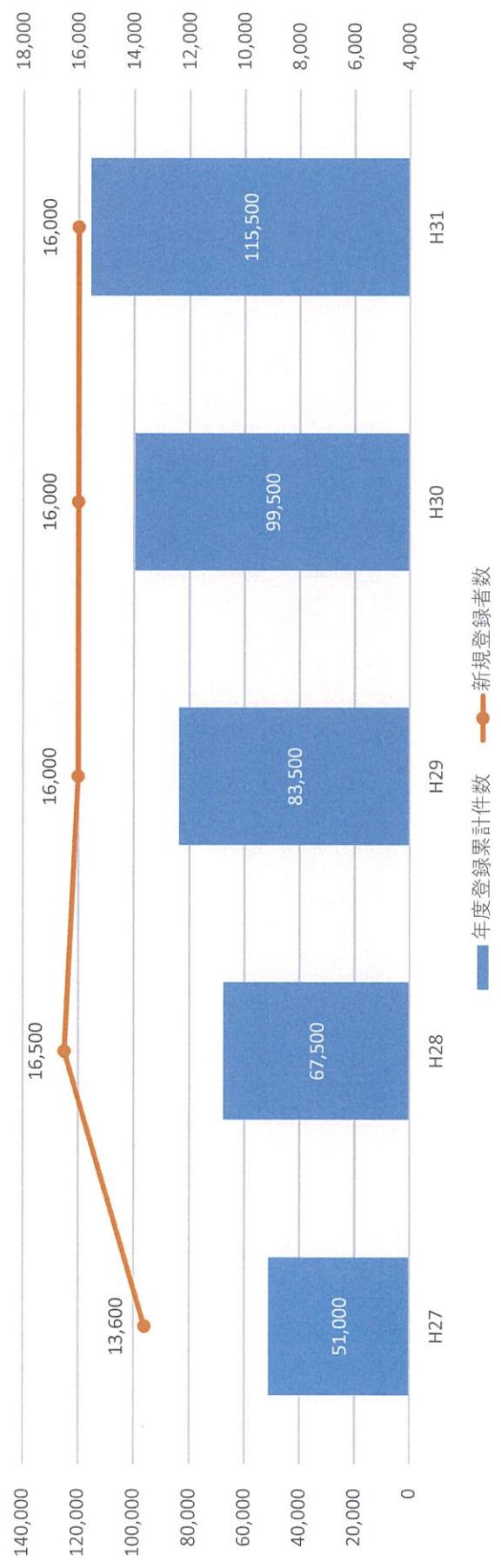
○国外の研修医及び見学者受け入れ人数の推移



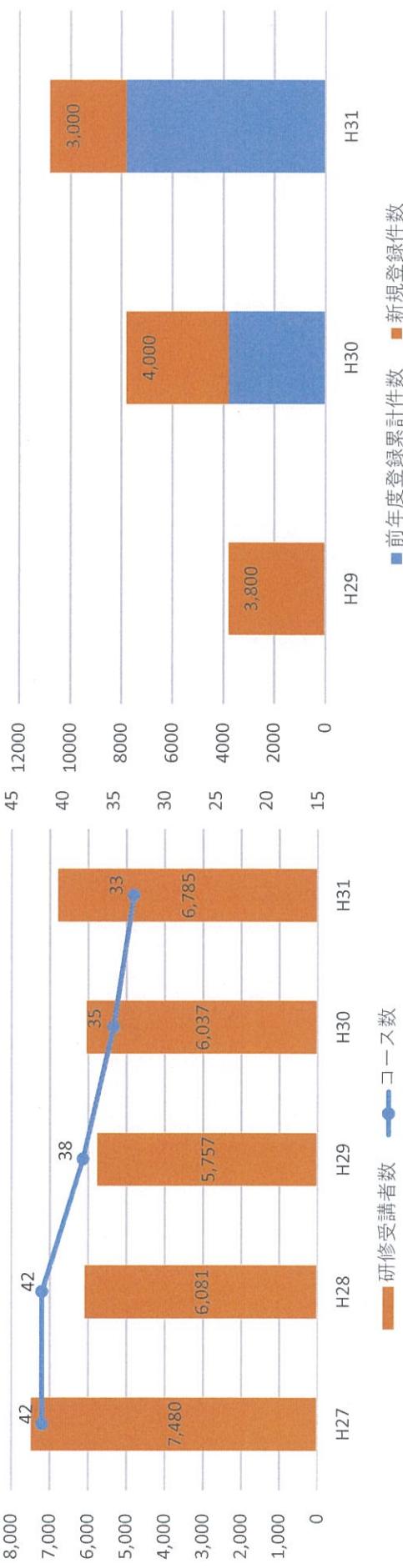
1-4
②

臨床研究従事者のためのe-learningの継続運営

e-learningの拡大



ICRweb個人課金件数の推移



1-4
③

Clipping (NCC掲載)

2018年9月5日(水)放送

企画戦略局 広報企画室

NHK ガッテン！「86万人の自宅に届く！乳がんで死なないための切り札をあなたへ」

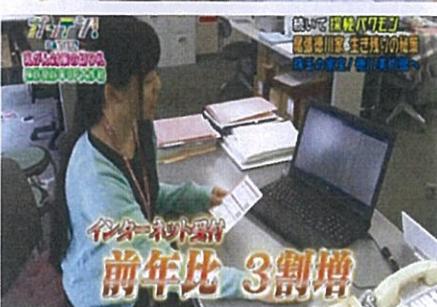
毎年1万人以上の女性が命を落とし、この40年で4倍に増えている「乳がん」。乳がんは予防が難しく、女性である以上避けがたいがんですが、早期の段階で見つかれば、95%の確率で治ります。そこで今回、ガッテンをきっかけに、全国の自治体を巻き込んだ、前代未聞のプロジェクトが始動しました。発案は、日本のがん医療をリードする国立がん研究センター。乳がんで死なないための「ある切り札」が、全国の乳がん検診の未受診者86万人の自宅に直接届けられたのです。思わず検診を受けたくなる秘策や、若年の乳がんを早期で見つけるためのチェック法などをお伝えしました。



Clipping (NCC掲載)

2018年9月19日(水)放送

NHKガッテン！「86万人に乳がん検診案内ハガキ 9/5放送後の反響速報！」



86万人に乳がん検診案内ハガキ 9/5放送後の反響速報！

9月5日に放送した“86万人に乳がん検診案内ハガキ”に嬉しい反響がありました。

お伝えした前代未聞のプロジェクト、放送に合わせて全国86万人に乳がん対策の切り札、乳がん検診が助成金付きで受けられる素敵なお便りが届きました。

放送翌日、佐賀市や茨城県水戸市など全国各地の自治体で乳がん検診の予約受付が始まり、40代女性からの申し込みが急増しました。茨城県古河市では、特設窓口を設置し、受付の30分も前から人が集まり、次々と申し込まれ、わずか1時間で受付ポストはいっぱいになりました。

インターネットからの申し込みも去年より3割増えたそうです。

40歳を越えたら、2年に1度は乳がん検診をぜひ受けてください。

MUFG 三菱UFJ国際投信

投資のインフラに
“革新”をプラス。

eMAXIS Neo
マネーマーケット

トップ > ヘルス > 記事

東京、神奈川、千葉、埼玉… 病院別「がん5年生存率」を一挙公開 好成績病院の特徴は?

西岡千史、河島太郎 2018.9.15 11:30 dot. #がん #朝日新聞出版の本

PR 資格を強みに、女性が活躍しやすい職業 監査・会計のプロとは?

[胃がん] 関東地方の主な病院別胃がん5年生存率 (%)

	病院名	病期(ステージ)				全体
		1期	2期	3期	4期	
埼玉	埼玉県立がんセンター	84.7	68.4	41.3	8.9	63.5
	春日部市立医療センター	85.0	—	—	3.5	49.5
	獨協医科大学埼玉医療センター	85.4	—	—	—	55.0
	川口市立医療センター	76.6	—	—	21.3	56.5
	済生会川口総合病院	79.3	—	—	4.8	58.1
	国立がん研究センター東病院	86.5	67.6	47.1	15.7	68.4
千葉	旭中央病院	73.5	52.5	35.3	3.4	51.0
	亀田総合病院	81.4	—	28.7	7.7	64.1
	君津中央病院	82.8	66.7	20.6	12.9	50.3
	千葉労災病院	81.0	—	—	12.1	56.8
	船橋市立医療センター	86.3	—	42.6	19.9	63.7
	千葉医療センター	82.6	—	—	—	63.3
全国	順天堂大学浦安病院	84.6	—	—	6.6	56.6
	全国平均	82.2	59.3	38.3	8.5	61.7

*国立がん研究センターの資料「2008年～09年5年生存率集計報告書」に基づく。病期はがんの進行度を表す指標で、4期が最もがんが進行している。「—」は30例未満。一部、09年のみ集計の施設もある。全国平均は全国251施設の数値

[胃がん] 埼玉・千葉の病院別がん5年生存率一覧

今や日本人の国民病となったがん。約2人に1人が一生のうちにかかり、3人に1人が死亡する。

[表] 胃・大腸・肝・肺・乳がん 病院別「がん5年生存率」一覧（関東編）はこちら

がんとの闘いは早期発見、早期治療が原理原則。一方、がんと診断された時「どの病院で治療を受けるか」で悩む人も多いだろう。

そこで参考にしたいのが、各病院の治療成績だ。これまででは、がんの部位ごとの手術症例数が参考にされることが多かった。そのなかで12日、病院選びの新たな指標となるデータが、国立がん研究センターによって公表された。



Lenovo/PC公式サイト

lenovo.com

サイトへ

同センターは、全国の「がん診療連携拠点病院」など251施設の患者のデータを集計し、がんの進行度を示すステージ別の5年生存率を病院ごとにまとめた（表参照）。これまで非公表だった病院ごとの生存率が明らかになったことで、患者が求めていた情報が増えたといえる。

ただ、病院によっては高齢者が多かったり、他の病気を同時に患っていたりすることがあるので、同センターは「単純生存率を比較して、その施設の治療の善し悪しを論することはできません」と注意喚起をしている。

医療ガバナンス研究所を主宰する医師の上昌広氏は、データの意味についてこう話す。

「難しい症例を扱うと生存期間は短く出ます。また、症例が少ない病院は、無理をして治療する傾向もあります」

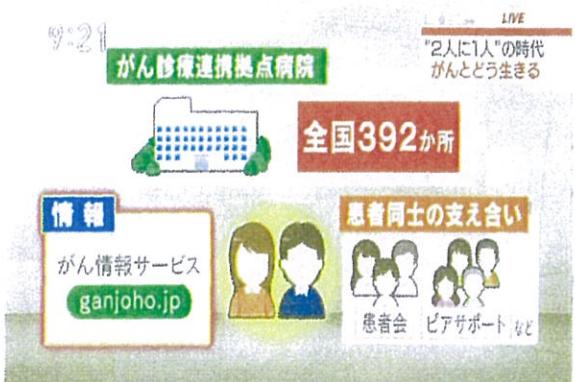
たとえば、国立がん研究センター中央病院は、肺がんの5年生存率が60.6%で関東地方でトップだ。全国平均も25.4ポイント上回っている。ただ、その理由について同病院は、手術など出血を伴う治療が多いことから「70歳以上の高齢者の割合が低いことが大きく関係している」と分析している。

データの特徴としては、手術数が多い病院に、5年生存率が高く出ているケースが目立つことだ。

Clipping (NCC掲載)

2019年4月21日(日)放送

NHK 日曜討論「“2人に1人”の時代 がんとどう生きる」

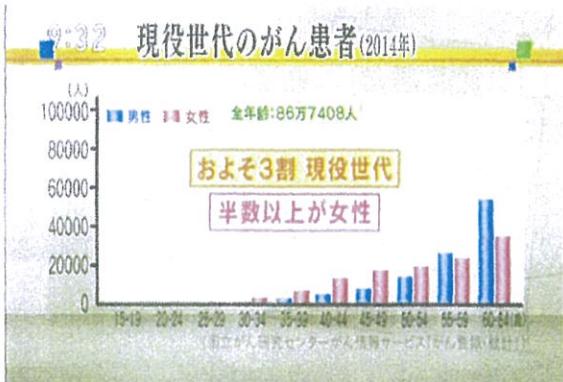


9:03 新たにがんと診断された患者
(2016年)

1年間で 約100万人 (のべ人数)

全国がん登録

厚生労働省が医療機関に患者の情報の届け出を義務づけデータベースで管理



“2人に1人”の時代 がんとどう生きる

社会はどう支えるのか？がんとの向き合い方が多2人に1人がなるといわれるがん。私たちはがんとどう生きるのか？がん患者を様化する今、専門家などの討論を通じて考えました。

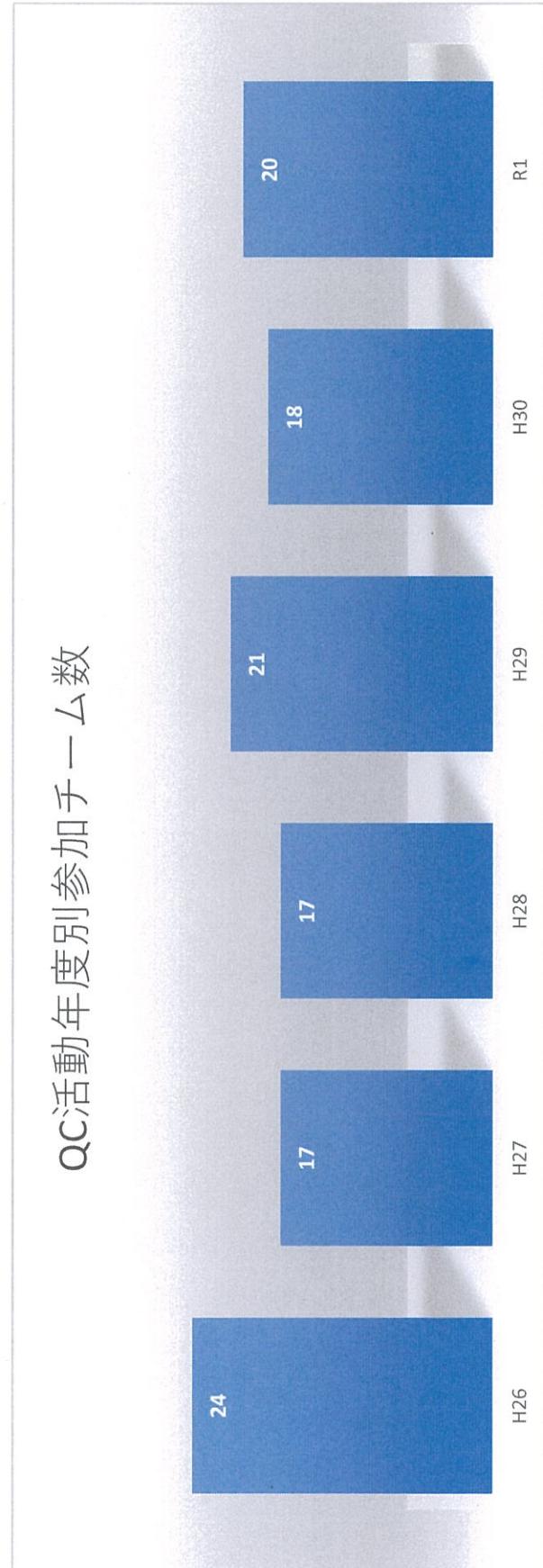
全国には国に指定されたがん診療連携拠点病院が392箇所ある。また患者同士が支え合う場所としては、患者会やピアサポートなどがあるという。さらに、国立がん研究センターのがん情報サービスが、治療方法の提供などを行っているという。

古村比呂氏は、がんになって今でも生きる大切さを大事にしており、どんどんと分かち合っていきたいと思うと語り、西口洋平氏はがんについて自分に素直になれる病気で、思いや経験を社会に発信することは大事だと思われると語った。

【出演】山口建、小澤竹俊、栗原幸江、古村比呂、西川大輔、西口洋平

QC活動の推進

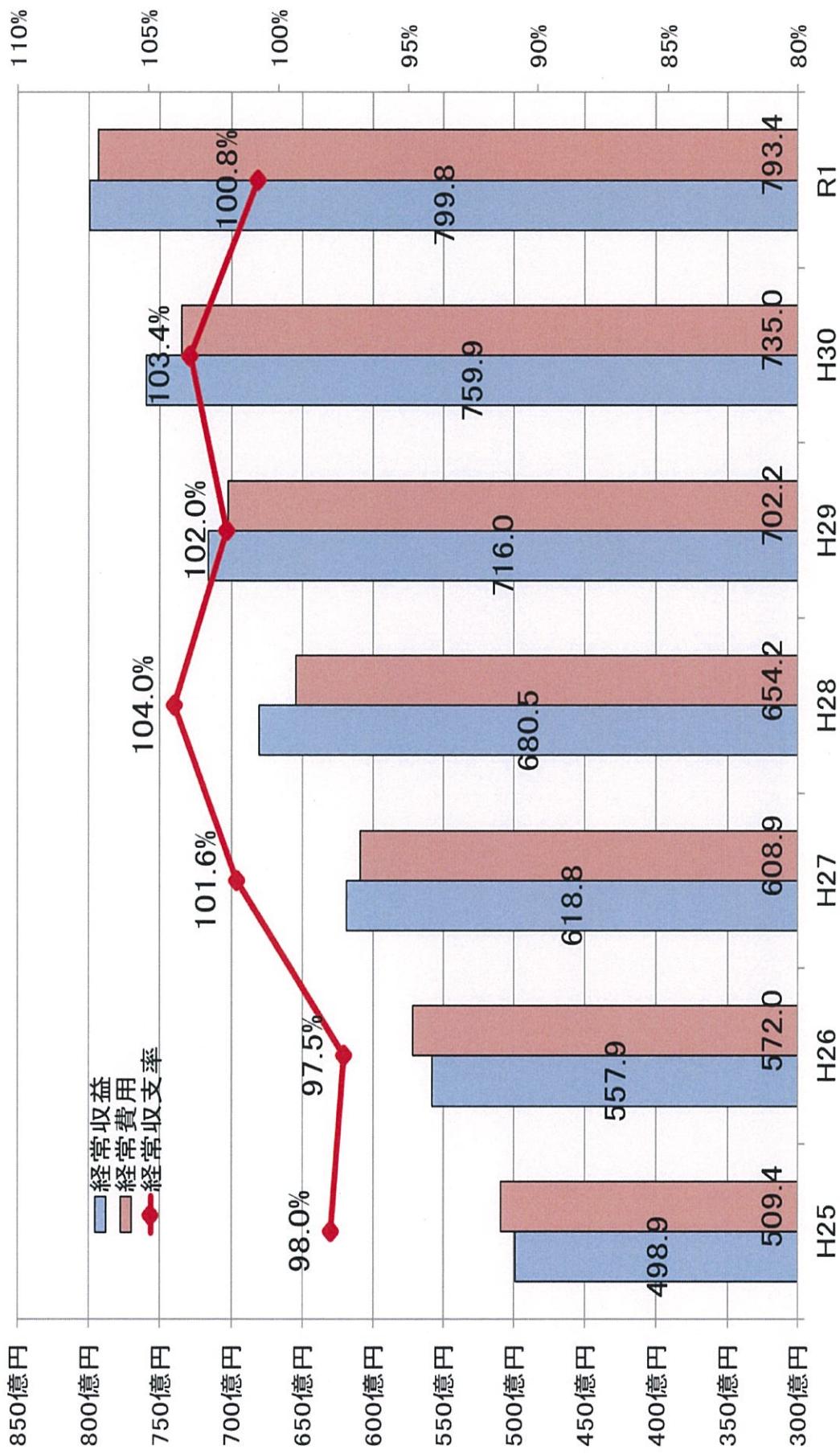
◎国立がん研究センターのQC活動は、患者満足度の向上や、職員のモチベーションの向上を目的として、平成26年度から開始した。



QC活動への取り組みは、築地・柏の両キャンパスから毎年度、各々10件程度あり、各チームが最優秀賞を目指して取り組んでいます

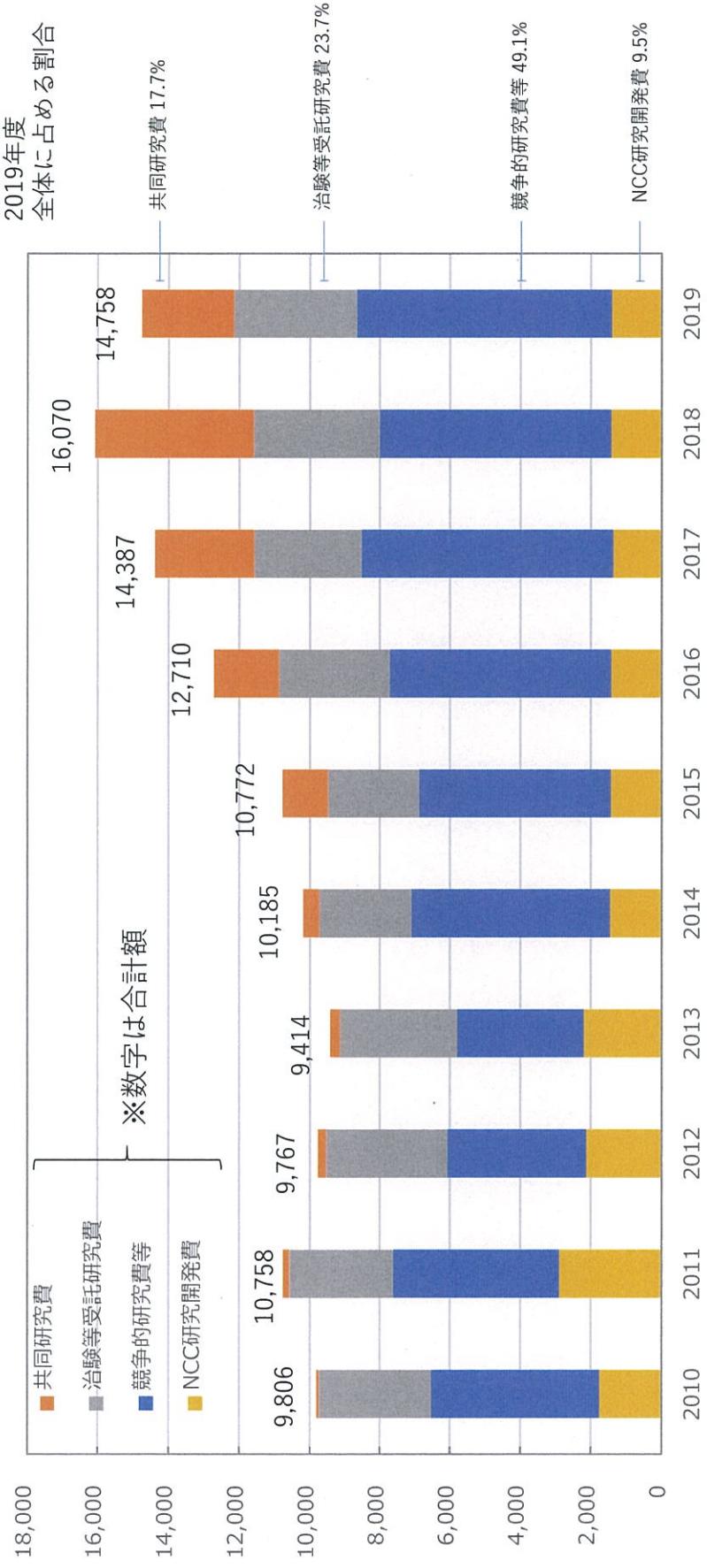
11

経常収支率の大幅な改善と安定化



外部資金獲得の推進

[百万円]

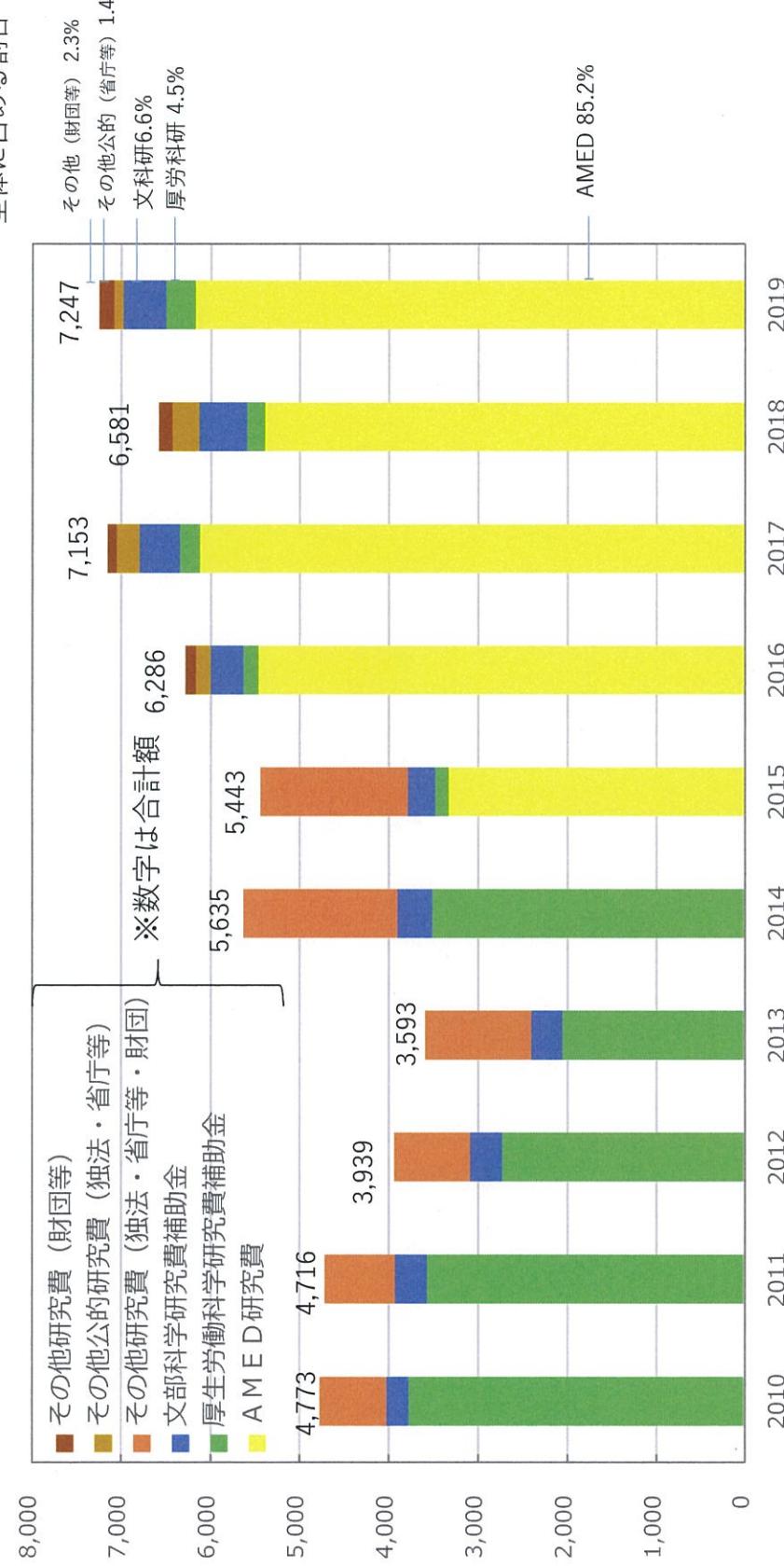


年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
共同研究費	71	183	248	285	460	1,295	1,841	2,813	4,478	2,608
治験等受託研究費	3,210	2,967	3,459	3,340	2,635	2,607	3,157	3,055	3,586	3,496
競争的研究費等	4,773	4,716	3,939	3,593	5,635	5,443	6,286	7,153	6,581	7,247
NCC研究開発費	1,752	2,892	2,121	2,196	1,455	1,427	1,426	1,366	1,425	1,407

3-1-1

外部資金（公的競争的資金）獲得の推進

[百万円]



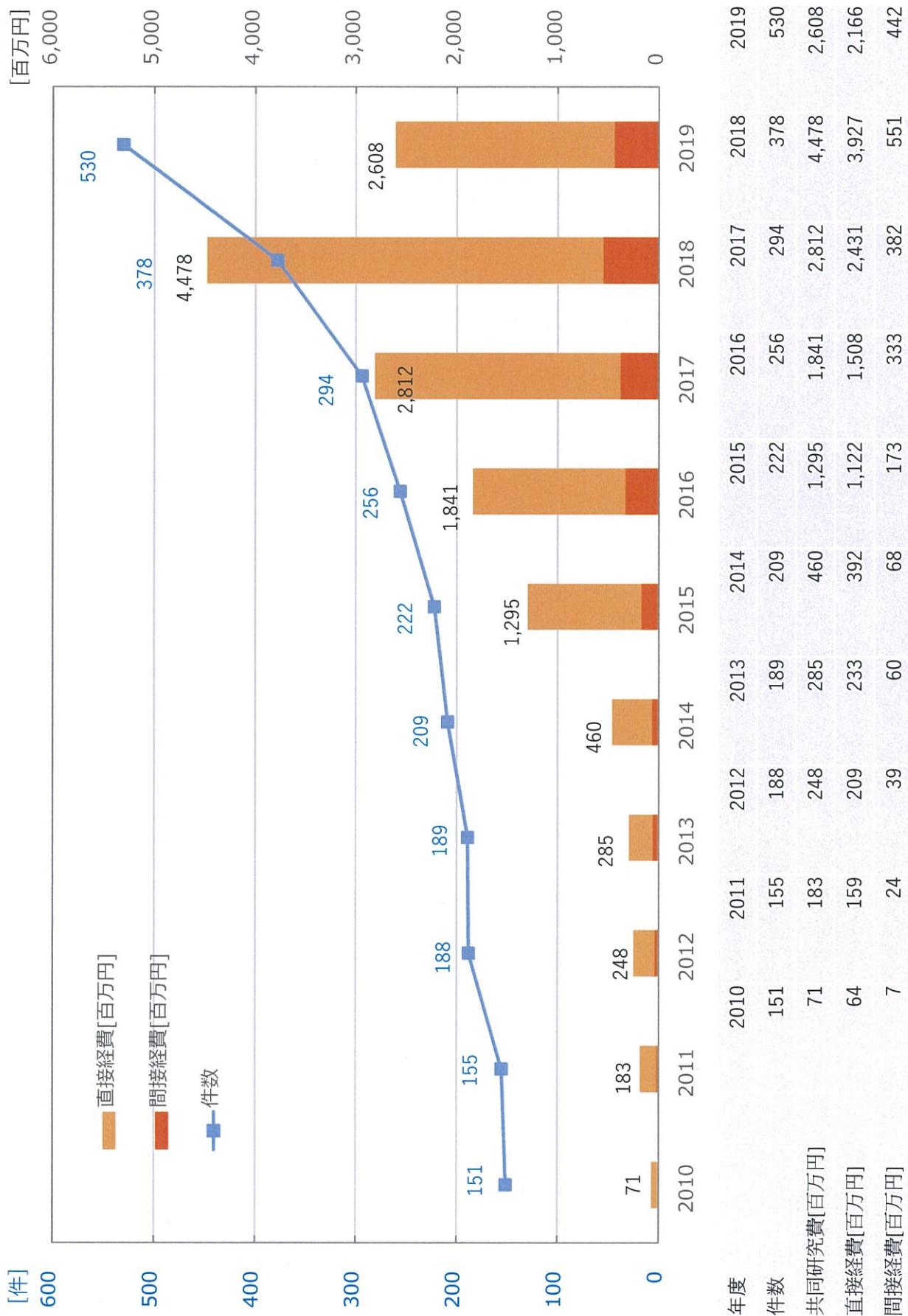
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
AMED研究費	4,773	4,716	3,939	3,593	5,443	5,635	6,286	6,581	7,153	7,247
文部科学研究費補助金	247	360	358	347	388	305	369	450	538	479
厚生労働科学研究費補助金	3,780	3,573	2,735	2,060	3,518	154	172	223	201	328
その他公的研究費（財団等）	746	783	847	1,186	1,729	1,652	116	102	150	165
その他公的研究費（独法・省庁等）	746	783	847	1,186	1,729	1,652	162	252	298	99

2019年度
全体に占める割合

その他（財団等） 2.3%
その他公的研究費（省庁等） 1.4%
文部科研 6.6%
厚労科研 4.5%

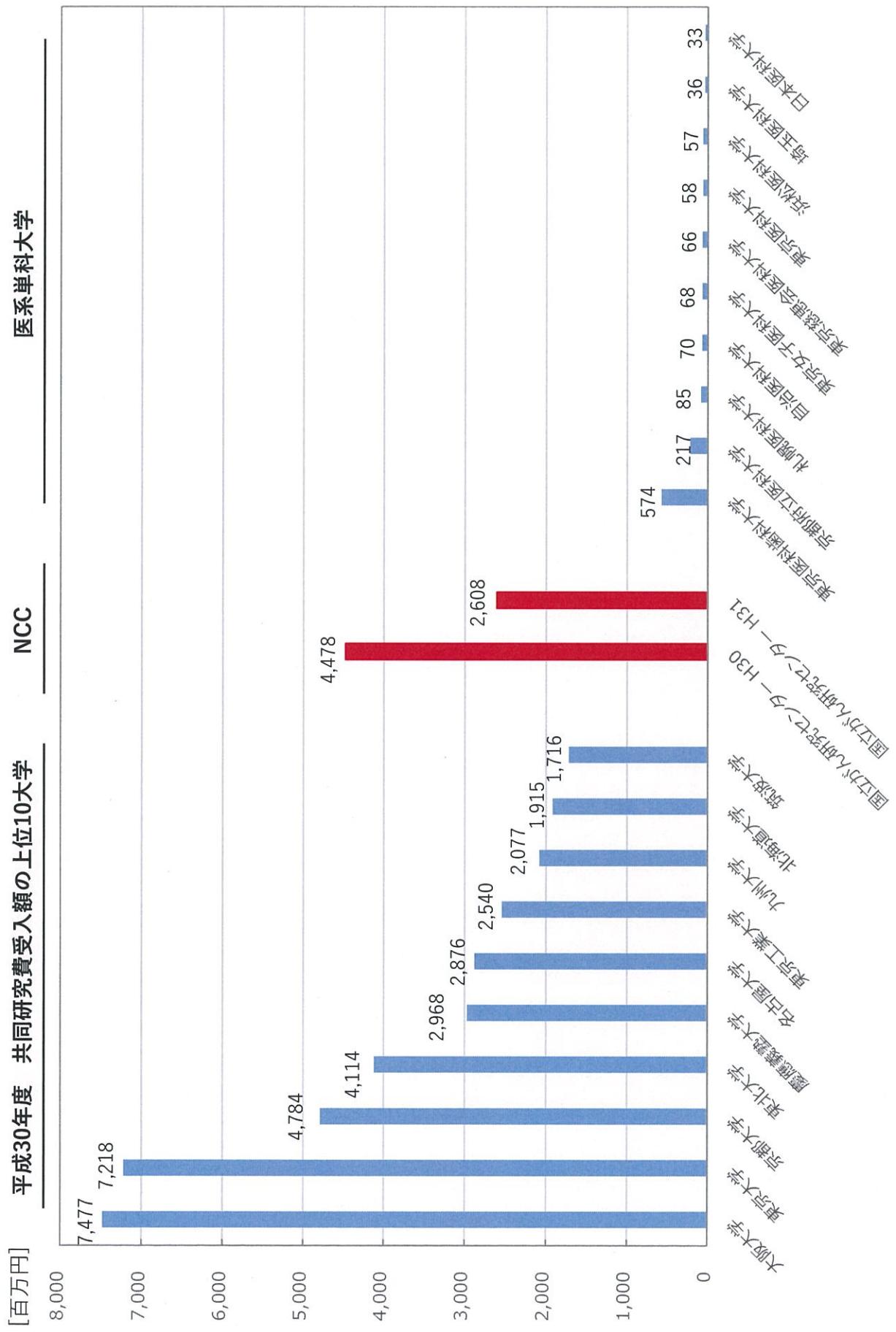
1/1

外部資金（共同研究）獲得の推進



3 / 1
①

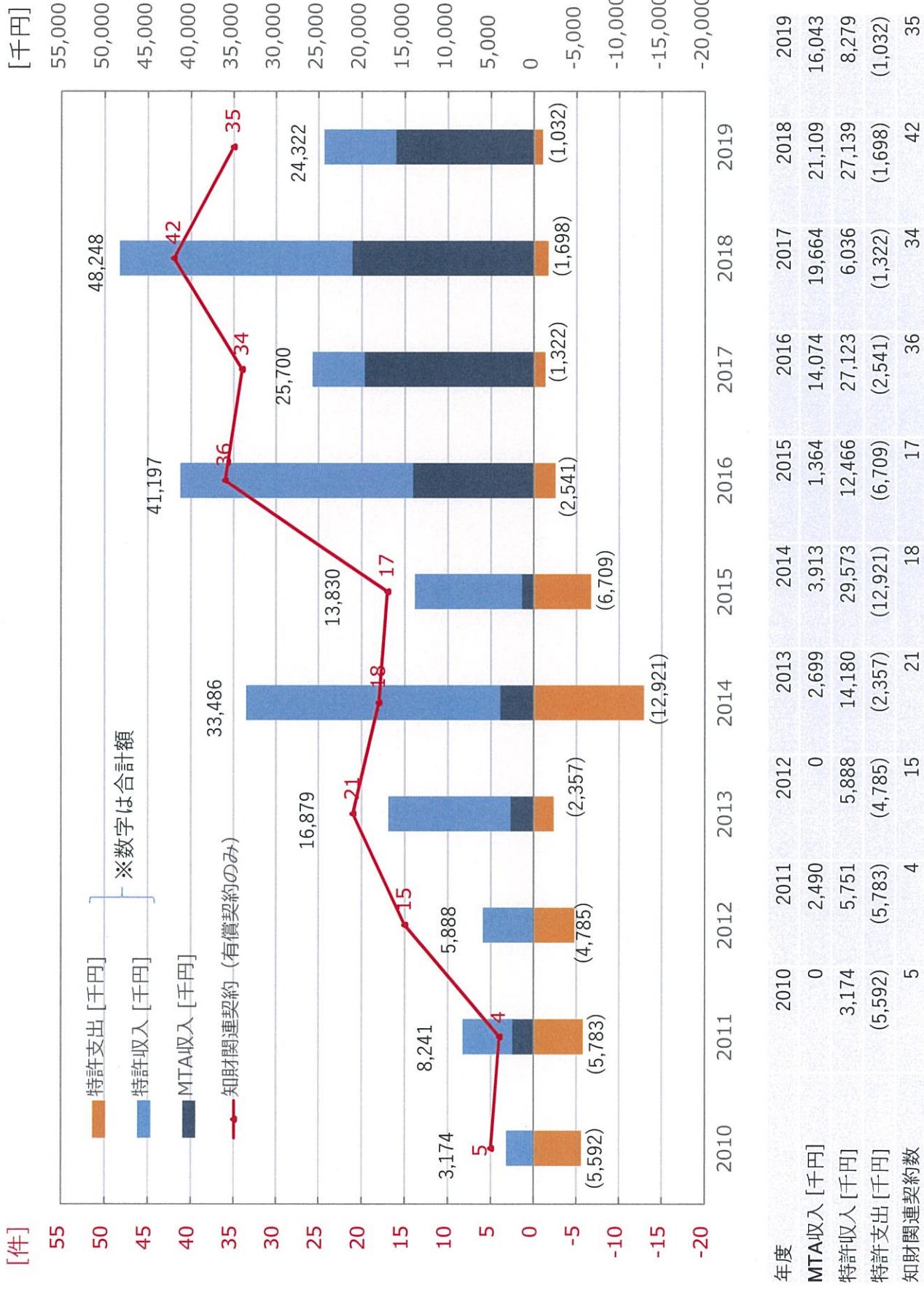
大学の共同研究費受入額との比較



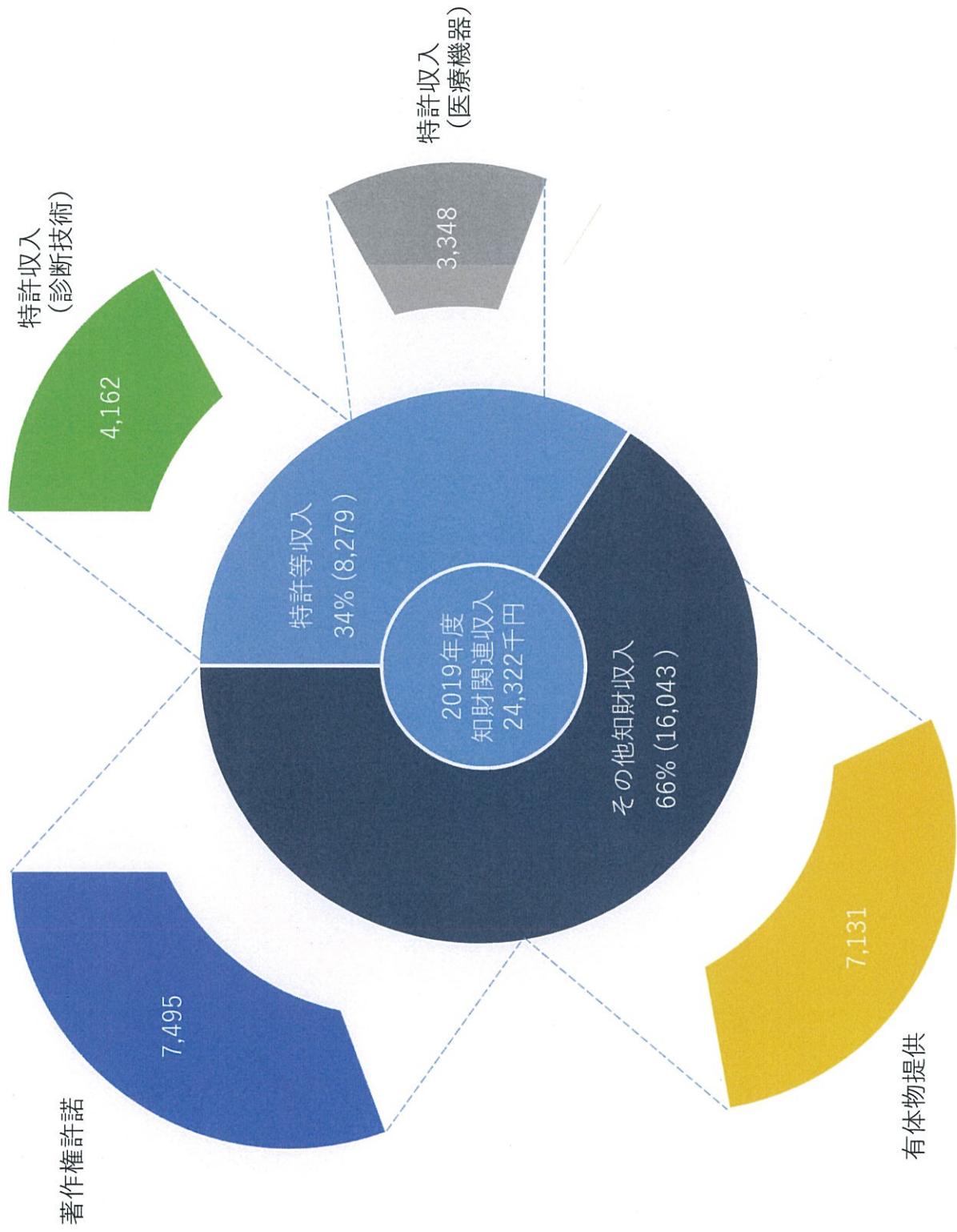
(資料) 文部科学省「平成30年度 大学等における産学連携等実施状況について」を基に作成

3-1 (1)

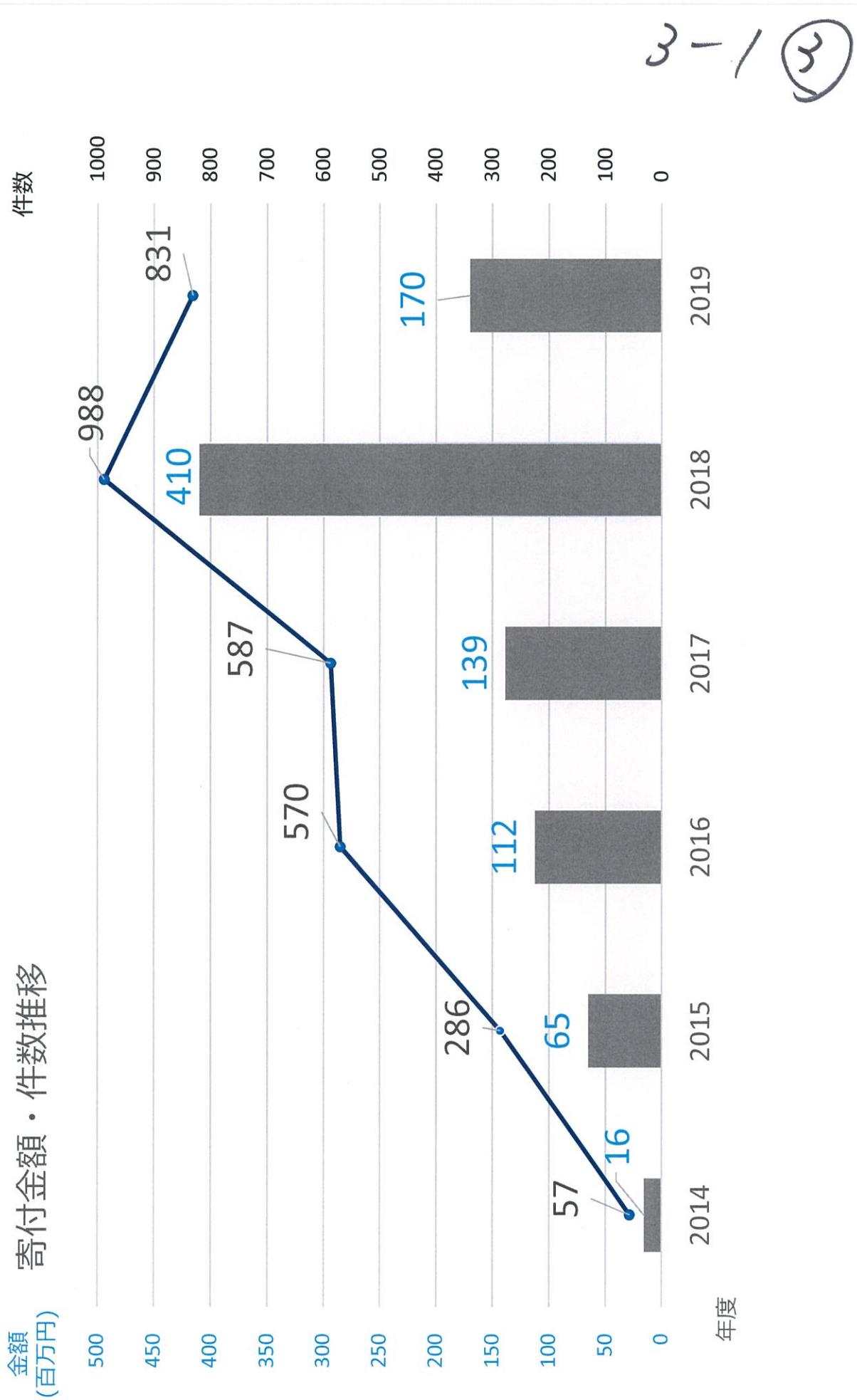
知財収支における9年連続の黒字達成



知的財産関連収入の主な内容



寄付金の大幅な増加



新研究棟、NEXT棟及びがんゲノム情報センターの開設

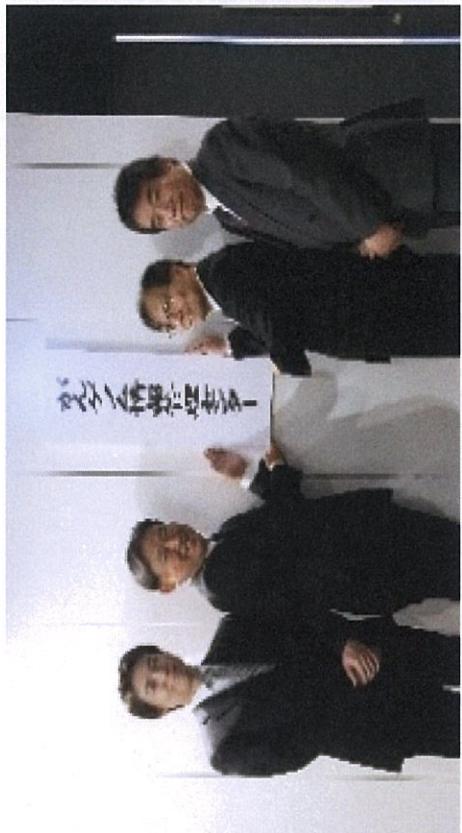
①新研究棟（平成29年3月完成）



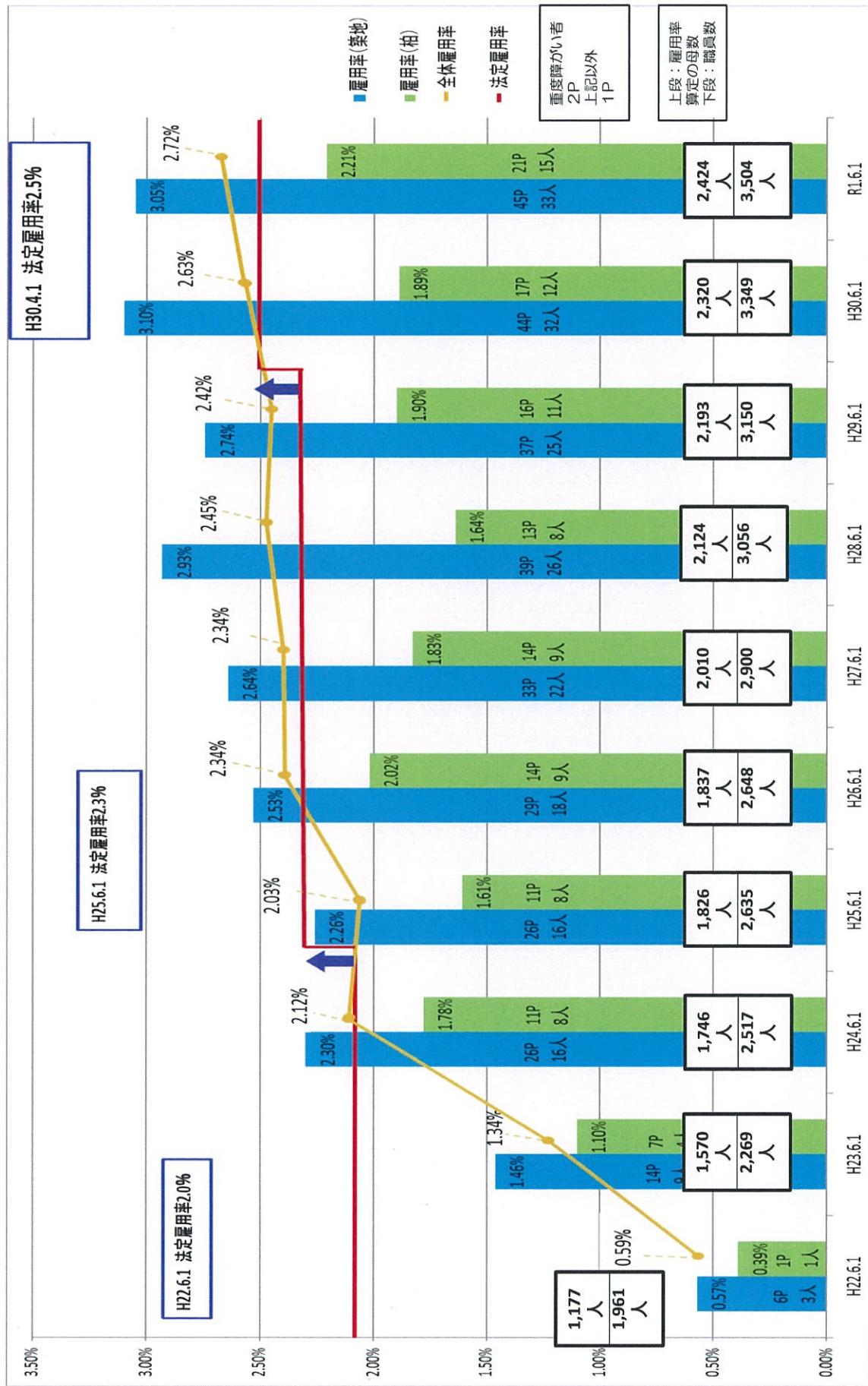
②NEXT棟（平成29年3月完成）



③がんゲノム情報センター（平成30年6月開設）

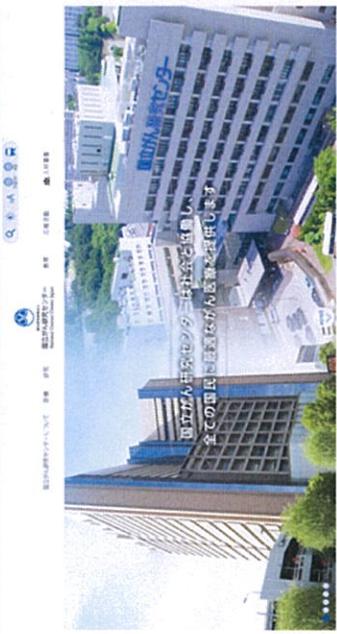


安定した障害者雇用

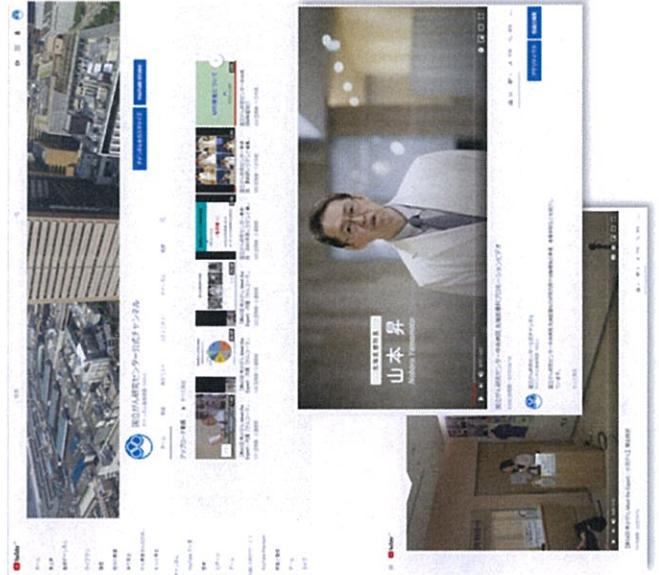


積極的な広報と幅広い世代への情報発信 (公式ホームページやSNSの積極的な活用)

I 公式ホームページ



II ソーシャル・ネットワーキング・サービス



- 目的別の情報発信
 - 月間ビューチェンネル登録者数：約200万
 - 更新頻度：約260件/月
 - 動画や写真のコンテンツを多数追加し、閲覧者に最善の方法で情報を提供しています。

□旬な情報の発信

- 合計いいね！数：1,042
- 投稿数：239投稿 (2020年3月末時点)
- フォロワー：1,259人

メディアへの掲載情報、院内でのイベント情報、プレスリース情報などよりタイムリーに発信しています

2018年度末より「いいね！」数：328増
フォロワー数：399人増

□動画の活用

- チャンネル登録者数：935人
- 投稿数：189本
- 視聴回数：15万回 (2020年3月末時点)
- 総再生時間：1.5万時間

医療従事者向け、患者さん向け、リクルート用などの多数のコンテンツを整備

2018年度末よりチャンネル登録者数：780人増

□目的別の情報発信

- チャンネル登録者数：935人
- 投稿数：189本
- 視聴回数：15万回 (2020年3月末時点)
- 総再生時間：1.5万時間

医療従事者向け、患者さん向け、リクルート用などの多数のコンテンツを整備

2018年度末よりチャンネル登録者数：780人増